

第2614回 例会

2015. 11. 5

会長あいさつ



関口 和夫会長

週報 No.2059

発行 2015年 11月19日

会長 関口 和夫

幹事 藤村 作

副会長 久保田 典

副幹事 樋口 雅之

編集責任者・

クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト

上尾市文化財保護審議会委員

遠山 正博様

11月25日 上尾西R・上尾北R

合同例会(日程変更)

12月 3日 認知症サポーター

養成講座(時間延長)

12月10日 卓話 村岡武仁会員

マイナンバー制度について

12月17日 血液センター見学

(例会場・時間変更)

12月26日 年次総会

次年度役員発表

クリスマス例会

(日程・時間変更)

皆さん、こんにちは。本日も、ご出席ありがとうございます。

遠山正博様ようこそお出で頂きありがとうございます。後ほど、卓話よろしくお願ひします。

今日は、ロータリー財団月間です。今月のロータリーの友のK.R.ラビンドランRI会長のメッセージは、過去にスリランカで起ったテロの事を取り上げています。このようなことが起こっても、ロータリーでは、平和は実現すると信じています。これは理想ではなく、経験に基づく信念ですと述べています。その例としてロータリー平和フェローによる活動です。ロータリー平和フェローはロータリー財団の支援を通じて、紛争予防・紛争解決のエキスパートとなります。ロータリーでは、争いに終止符を打つだけでなく、争いをくい止めるための方法を見つけることを目標としています。会長は、私たちは暴力で暴力に立ち向かうことはできません。教育、理解、そして平和という武器をもって戦う時、私たちは真に「世界のプレゼント」になれるのですと訴えています。

今月のロータリーの友にロータリー財団補助金の活用例の記事が掲載されています。重点分野のシンボルマークが、最初のページにあります。皆さん重点分野を思い出して下さい。①平和と紛争予防/紛争解決②疾病予防と治療③水と衛生④母子と健康⑤基本的教育と識字率向上⑥経済と地域社会の展望があげられます。地区財団活動資金DDF(District Designated Fund)がグローバル補助金(Global Grants)と地区補助金(District Grants)使用されます。

10月23日にニューヨークで行われた、世界ポリオデーにはユニセフのアンソニー・レイク事務局長をはじめとする世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)パートナー団体に代表者やポリオ撲滅をサポートする著名人が参加しました。

GPEIは、ロータリー、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センター(CDC)が主要パートナーとして約30年間先導してきたもので、現在はビル&メリンダ・ゲイツ財団も支援に加わっています。レイク事務局長は「世界が紛争で引き裂かれ、人々の絆がこれまで以上に薄く、弱くなっています。ポリオを撲滅することは、人類にとって最大の功績になるだけでなく、多様なパートナーが共通の目標の下

に力を合わせ、素晴らしいことを達成できる例になるでしょう」語っています。

1979年以来、ロータリーはポリオ撲滅に15億ドル以上寄付してきました。ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長は新たに4,040万ドルを拠出することを発表しました。そのうち2,600万ドル以上がアフリカ、530万ドルがインド、670万ドルがパキスタン、40万ドルがイラクに充てられると説明しました。また、予防接種と監視活動に約100万ドルが拠出されます。ポリオ撲滅が達成されれば、ポリオという予防可能な病から子供たちを救えるだけでなく、次の世界的な保険活動への土台をつくり、人類の健康を守るための遺産を残すことができるのですと述べています。

ロータリー財団へのご寄付をお願いします。

以上を持ちました、会長挨拶とさせていただきます。

ビジターゲスト紹介

プログラム委員会 須田 悦正委員長

遠山正博様のプロフィールをご紹介します。上尾市ご出身、上尾中央小学校、上尾中学校を卒業し、芝浦工業大学に金属工学専攻で卒業されました。その後、三井金属株式会社にてご従事され、その後、株式会社ナガボテックに転職されました。現在は上尾市体育協会副会長、上尾市文化財保護審議会委員、上尾市ソフトボール協会会長、上尾市保護司会会長、埼玉県体育協会評議員、埼玉県銃刀登録審査員、文化庁銃刀審査員等、さまざまな役職に就かれています。本日は「刀の話」ということで30分の卓話をお願いしております。どうぞよろしくお願ひいたします。



例会主題 卓話

刀の話

遠山 正博様



上尾市出生、上尾市在住の遠山です。本日は刀はどういうものかお話しします。

刀は所持許可証を持っていないと銃刀法違反になります。銃刀法は法のもとに運用されています。現在しっかりと刀の定義をつくらうと文化庁に年2回、出向してまとめさせてもらっています。年6回、埼玉県中から集まってくる刀を銃刀法上、持てるものか持てないものか審査しています。

鉄でできていて刀の形をしていれば登録できるかというそうではありません。折り返し鍛錬されてあって、且つ焼き入れをしたことによって刃がついているものが日本刀として定義されます。ですから洋鉄=サーベル類に刃をつけて持っているとそれは日本刀ではありませんので我々の審査の対象外で没収という形をとっています。



そして刀の鑑定では、まず折り返し鍛錬をしてあることによる地の文様、刃文、反り、そして中心(なかご)を見ます。「なかご千両」という言葉がありますが、これはいくらか刃が良くとも中心がしっかりしていなければ、その刀は値打ちがありませんよ、ということなんです。なかごには千両の価値がある、ということです。

錆はうそをつきません。錆は時代をずつときたことを示します。鑑定基準の反りですが、最初鍛えた時はまっすぐな刀は、水の中に焼き入れをすることによって反りが発生します。刃は薄く、峰は厚いから金属加工的に言って収縮率の差でできます。刃を付けた状態で焼き入れをすすと刃が折れをおこす刃の役をしなくなるので、焼き入れの段階では刃は1ミリぐらいあります。焼き入れをして、それから研ぎにかりかます。

反りによって時代がわかります。水の中に入れる時に先から入れるか、元から入れるか、真ん中から入れるかで、急激に最初に冷えたところで鉄は曲がります。元反りのものは鎌倉時代が多く、全体的に水に入れる室町時代は直刀に近くなり、江戸時代初期はゆつりと真ん中から水に入れて急激な反りを発生させています。「反りが合わない」という言葉がありますが、100本刀があってもそれにあう100本の鞘があっても滅多にあいません。それがあう刀の反りと鞘は合わないのと、人と人の性格が合わないのと、反りが合わないとなります。

そして日本にはこのような素晴らしい刀ができたかという、砂鉄があったからです。また松炭で鉄を還元することによって玉鋼ができたのです。直刀だけでは折れてしましますが、折り返し鍛錬することによって世界に誇る刀が出来たのです。そして各地で折り返し方が違います。

刀は師弟関係があるので、地をみると、どこの師匠からどう伝わってどこの国から来たかというのがよくわかります。それでどの地方のもの、どの系統のものかと判断ができます。また刃文を補助的な手段で判断基準にします。われわれは、形や刃文や彫を見て楽しみます。錆びな

いように研いだり、油をつけたり1年に1回~2回は手入れをします。以前は50代の男性が講習会にきていましたが、いまは20代の女性が来ています。8割方は女性でインターネットで調べて質問をします。国立美術館でも若い女性が6割ほど来ているそうです。

刀と太刀は同じものですが、銘の入れ方で刃が下にいくものは太刀と言います。逆に銘が入って刃が上にくくものは刀と言います。刀は見て触ってどうなんだと感ずるものです。皆さんもぜひ刀の魅力を感じていただければと思います。本日はありがとうございました。



遠山様、卓話ありがとうございました!

スマイル

関口会長/久保田副会長/藤村幹事/武重会員/岡野会員/大塚信郎会員/小林会員/富永会員/齋藤重美会員/井上会員/村岡会員/尾花会員/神田会員/渡邊会員/大木会員/細野会員/名取会員/島村会員/齋藤博重会員/齋藤哲雄会員/須田会員/野瀬会員/長沼会員/齋藤修弘会員/北村会員/春日会員

出席率		
出席	会員数 38	出席数 27
欠席	欠席数 11	(%) 71.05
前々回確定		欠席数 6
修正(%)	84.21	(M・U) 6

国際ロータリー第2770地区 2015~2016年度

地区大会が開催されました!

《大会テーマ》ロータリーと地域の絆

2015.11.14(土) 於:浦和ロイヤルパインズホテル

2015.11.15(日) 於:さいたま市文化センター



例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 東武バネットホール4F(ポリアス) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

